

授業改善シート〔国語〕

校番(15) 福山市立精華中学校

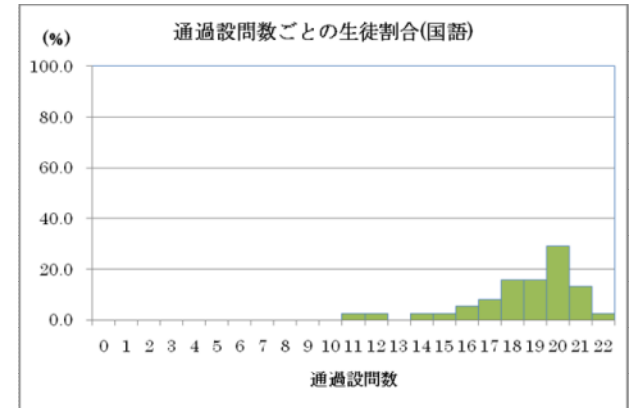
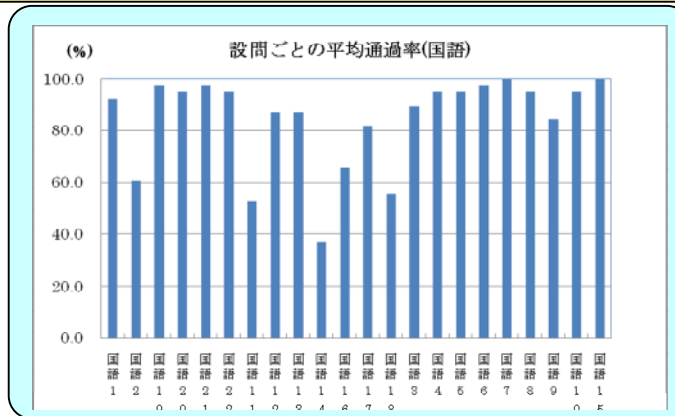
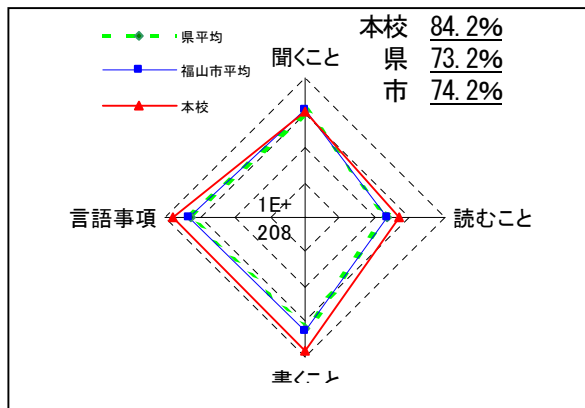
昨年度課題

- ①漢字の行書の基本的な書き方を理解することに課題がある。
- ②文章の展開に即して登場人物の心情を的確に捉えることに課題がある。
- ③文章の展開に即して段落相互の関係を捉えることに課題がある。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①楷書との違いを比較しながら理解させ、確認の小テストをした。作品制作では、評価のポイントの項目として行書の特徴を意識させた。
- ②全体を通して、筆者の意見、根拠を捉えさせた。さらに、各段落の要旨をまとめて段落のはたらきを考えさせた上で、段落と段落の関係を捉えさせた。
《本年度の目標値 通過率60%以上の生徒を75%以上にする》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎文脈上の語句の意味を理解することに課題がある。(52.6%)
- ◎文学的文章の登場人物の心情を的確に把握することに課題がある。(36.8%)
登場人物の言動や情景の描写、接続語に着目しながら、心情の変化を読み取る力が不十分と考えられる。
- ◎説明的文章の展開を的確に把握することに課題がある。(55.3%) 文章全体の構成を捉える力がついていない。段落の初めの接続語や叙述に着目させ、各段落の関係を的確にとらえる力をつける必要がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【国語科】
- ①表現に着目し、他の語彙と比較しながら、ことばのもつ表現力の違いを考えさせる活動を取り入れる。また、家庭学習では、意味調べでそのことばを用いた単文作りをすることで、ことばの使い方を学び、語彙を豊かにさせる。
 - ②人物の言動や情景描写など、心情が表現されている叙述に着目させて考える指導を継続する。その際、グループ学習などで意見交流をし、文章表現の中の根拠を示しながら、説明する活動を取り入れる。
 - ③全体から部分の読み取りとして筆者の主張と根拠を把握すると共に、段落のはたらきを把握させて、段落相互の関係をおさえる指導を継続する。さらに、他の文章を取り入れて、要旨やそれをもとに段落のはたらきをつかむ学習を取り入れる。
- 【全校・他教科等】 結論先行、根拠、意見を明確にした言語活動を授業に取り入れる。

取組みの検証

- 時期 1月末
- 目標値 70%以上
- 方法 福山市調査問題

来年度の目標値

- 各課題の通過率を70%以上とする。

授業改善シート〔数学〕

校番(15) 福山市立精華中学校

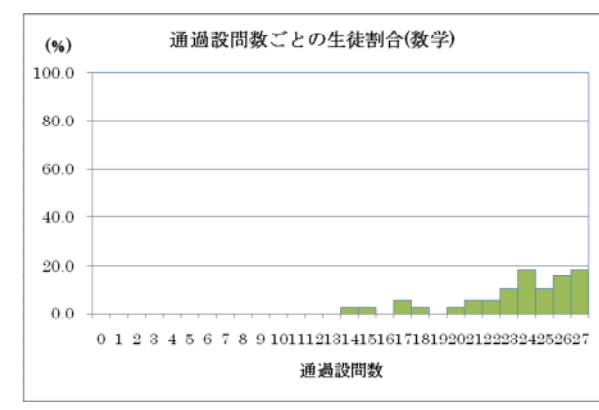
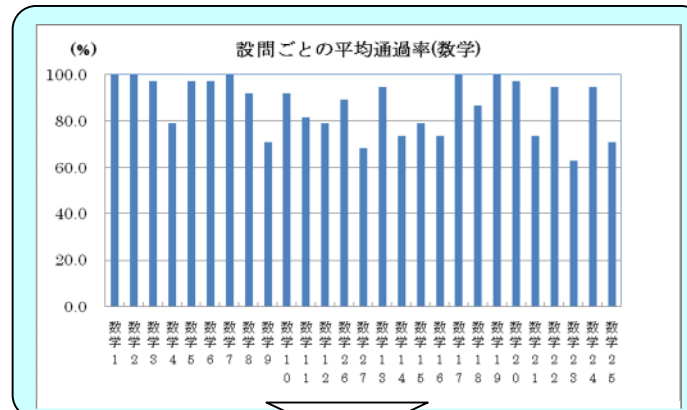
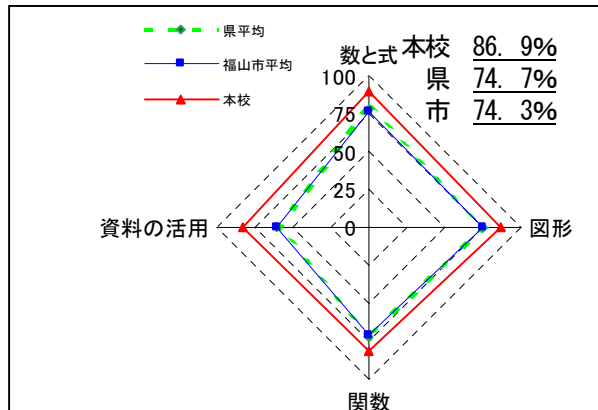
昨年度課題

- ① [関数] 問題文から必要な情報を読み取り、数学的に解決することが出来ない。
- ② [関数] 2つのグラフを関連づけて事象を数学的に解決することが出来ない。
- ③ [資料の活用] 相対度数をもとめることができていない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 習熟度別クラスにして、チャレンジ問題をするクラスと基礎的な問題を反復練習するクラスに分けて授業展開してきた。
- ② ペアトークで理由や根拠を説明し合ったり、記述式の問題を定期テストに毎回出題してきた。誤答例を示し、どこがどのように違うのかを考えさせるようにしてきた。
- ③ 問題文を読み間違えないように、下線を引くなど丁寧に読み取るようにしてきた。
《本年度の目標値 各問の通過率を80%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ [数と式] 数量の関係を文字を用いた式で表すことに課題がある。表を書くなどして、考察することが不十分である。(通過率 68.4%)
- ◎ [数と式] 具体的な場面で図を使って、正負の数を利用することに課題がある。文章を正しく読み取る力が不足している。(通過率 71.1%)
- ◎ [関数] 2つのグラフを関連づけて事象を数学的に解決することに課題がある。(通過率 63.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

【数学科】

- ① 具体的な数量関係を学習することを通して文字の使い方に慣れさせる。文字の便利さを習得させる。
- ② まずは文章を正しく読み取る力をつけさせる。正負の利用の仕方について学習を積み重ねる。
- ③ 縦軸や横軸のもつ意味をつかませグラフ上にある点は何を表しているのかをつかませる。そのことによってグラフを利用することの便利さを学習する。

【全校・他教科等】

- ・発表や説明をすることを通して数学的思考方、数学的理解を深めさせる。

取組みの検証

- 時期 1月末
- 目標値 通過率 75%以上
- 方法 福山市調査問題

来年度の目標値

- 関数の問題での通過率を65%以上にする。
- 通過率30%以上の生徒を0にする。

授業改善シート〔英語〕

校番(15) 福山市立精華中学校

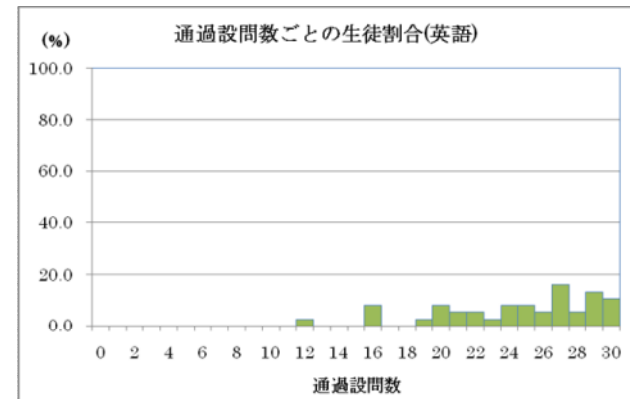
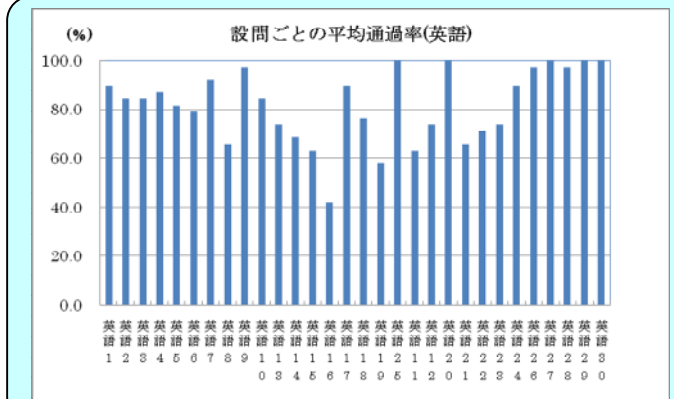
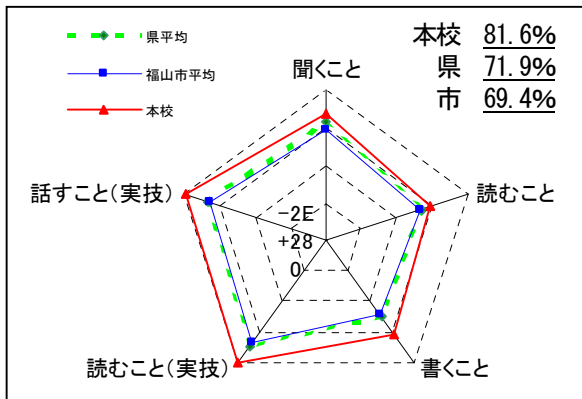
昨年度課題

- ①主語が A and B を複数としてとらえ、助動詞 do を選ぶことができていない。(29.8%)
- ②動詞の過去形を用いて自分のことを正しく書くことができなかった。(44.7%)
- ③話の流れをつかみながら、的確に読み取ることができない。(51.1%)

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①常に動詞は何かに注目させる。What do you do?等の What と動詞 do を使ったQ&Aを頻繁に用いた演習をする。
 - ②be 動詞と一般動詞の区別に注目させ、ペアワークなどで自分のことを時制に合わせて正しく言わせたり、書かせる。
 - ③代名詞が何を示しているか、前後関係に留意させ文章全体を正しく読み取らせる。
- 《本年度の目標値 通過率60%以上の生徒を80%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎一般動詞の疑問文の作り方は助動詞doを用いることが十分定着していない。(通過率42.1%)
- ◎話の流れをつかみながら的確に読み取る場合、代名詞itが何を指しているか適切に把握できていない。(通過率57.9%)
- ◎現在進行形の文では一般動詞の語尾にingをつけることが十分定着していない。(通過率63.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【英語科】

- ①身近な言語の使用場面を設定して、yes-no 疑問文やwh-疑問文などの英文を作らせ、ペアワークでQ&Aをさせる。
- ②対話文やまとまった文章を読ませる時には代名詞を日本語にするだけでなく、代名詞が何を指すのか考えさせ、会話の流れをつかませながら読ませる。
- ③be 動詞と一般動詞の役割をはっきりさせ、様々な時制によって形が変わることを定着させる活動をスパイラルに行う。

【全校・他教科等】

- ・自分の考えや思いを表現する活動(話す・書く)を充実させる。

取組みの検証

- 時期 1月末
- 目標値 通過率70%
- 方法 福山市調査問題

来年度の目標値

- 通過率60%以上の生徒を80%以上にする。(昨年度78.7%、本年度89.5%)
- 書くことの領域の通過率を70%以上にする。(昨年度61.7%、本年度76.7%)